

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	9 道路ネットワークを充実させる幹線整備や生活に密着したきめ細やかな道づくり												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	今治市												
計画の目標	地域が活性化し賑わいで満たされるためには、良好で暮らしやすい生活・都市環境の基本的要素である道路交通条件が改善され、安全で利便性が高い魅力ある街づくりが求められる。そこで、各地域を結び地域の連携を図る道路ネットワークを形成していく幹線型道路を充実させるとともに、地域の生活環境を向上させる地域密着型道路を着実に整備していく。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,944	A	1,944	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	日常の暮らしを支える生活道路を整備し、接道条件が向上する戸数を約30件増加させる。 幅員4m以上の道路に接道され、生活環境の向上が図られる戸数の増加 幅員4m以上の道路に接道される戸数の増加	0戸	戸	33戸
2	一部のみが未改良のため、交通のボトルネックとなっている区間L=約100mを解消する。 一部のみが未改良のため、交通のボトルネックとなっている区間の解消 解消されるボトルネック区間の延長	0m	m	100m
3	道路改築延長(事業費換算延長)を約3100m増加させる。 道路整備延長の増加 道路整備延長(事業費換算延長) = 全体計画延長 × (5ヶ年事業費 / 全体事業費)	0m	2460m	3100m

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
(定住自立圏共生ビジョン名)に基づき実施される要素事業: A1全て												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	今治市	直接	今治市	市町村道	改築	鴨部線 玉川町	現道拡幅 L = 1.4 k m	今治市						253	-	
	A01-002	道路	一般	今治市	直接	今治市	市町村道	改築	高地延喜線 阿方工区	バイパス L = 0.8 k m	今治市						439	-	
	A01-003	道路	一般	今治市	直接	今治市	市町村道	改築	今治駅高橋線 小泉工区	バイパス L = 0.6 k m	今治市						103	-	
	A01-004	道路	一般	今治市	直接	今治市	市町村道	改築	八町松木1号線	バイパス L = 0.2 k m	今治市						77	-	
	A01-005	道路	一般	今治市	直接	今治市	市町村道	改築	品部本線	現道拡幅 L = 0.1 k m	今治市						16	-	
	A01-006	道路	一般	今治市	直接	今治市	市町村道	改築	別名矢田線	バイパス L = 1.3 k m	今治市						420	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-007	街路	一般	今治市	直接	今治市	S街路	改築	今治駅西高橋線 片山工区	現道拡幅 L = 0.4 k m	今治市						535		-	
	A01-008	道路	一般	今治市	直接	今治市	市町村道	改築	高地山方線	バイパス L = 0.5 k m	今治市							19		-
	A01-009	道路	一般	今治市	直接	今治市	市町村道	改築	大浜糸山線 第1工区	現道拡幅 L = 0.6 k m	今治市							56		-
		防安全から移行																		
	A01-010	道路	一般	今治市	直接	今治市	市町村道	改築	今治駅西側線	バリアフリー整備L=0.7 k m	今治市							26		-
		防安全から移行																		
												小計						1,944		
											合計						1,944			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
今治市社会資本総合整備計画等評価委員会	令和3年度
	公表の方法
	市の公式ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・一定区間の狭隘な道路を4.0m以上の道路に拡幅することにより、沿道住民（戸数33件）の生活環境が向上した。 ・交通のボトルネックとなっていた区間L=100mの道路整備により、安全で円滑な道路交通を確保することができた。 ・道路整備延長（事業費換算延長）は2037m増加し、目標達成率は66%であった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	歩道のバリアフリー化を行うことにより、歩行者の誰もが安心して快適に移動できるようになった。
特記事項（今後の方針等）	
<p>利便性や安全性、快適性の向上を図るため、幹線道路や生活道路の整備を実施する。 歩行者や自転車の交通安全を確保するため、歩道のバリアフリー対策や自転車通行空間の創出を推進する。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	幅員4m以上の道路に接道される戸数の増加	
	最終目標値	33戸
2	最終実績値	33戸
	解消されるボトルネック区間の延長	
3	最終目標値	100m
	最終実績値	100m
3	道路整備延長の増加	
	最終目標値	3100m
	最終実績値	2037m
	関係者協議や用地交渉に不測の日数を要し、事業進捗の遅れが発生したため、目標値には届かなかった。	